

## 実践記録 第6学年 体育科

### 1 単元 とび箱運動

### 2 教科の目標

跳び箱の支持跳び越し技に取り組み、それぞれの系について、自己の能力に適した技が安定してできるようにする。

### 3 活用したICT

デジタルカメラ（ビデオ機能）

### 4 活用したICTの特性

- ・ 体育の実技のように、やっている様子を自分で確認できないものや一瞬しか見えないものに対して、映像として記録し、その場で何度も見たり、スロー再生や一時停止をして振り返ることができる。（デジタルカメラ）



資料① 友達と技のチェックをする子ども

### 5 実践の様子

- ① 技のポイントをおさえ、自分ができているかどうかのチェックを友達と共にした。（資料①）
- ② 技のポイントの中で、練習をする課題を決めてワークシートに記入した。（資料②）
- ③ 技が定着するように、課題ができているかどうか友達とお互いに見合ったり、アドバイスをしたりして練習をした。（資料③）
- ④ 授業の終わりに、振り返りを行って自己評価をした。

※ ①から④までの流れを各時間で言い、それぞれの技の定着を図った。

日付	課題	友達と相談してわかったこと	成果 ◎○△
12月6日(木)	手は手前に着いて、手で押し上げる。 足はのはず。	いきおいよく勇気をもらってやる。	◎
12月13日(木)	足をきろえてふみかか。 じまをいれ、とまらすはてふ。	足のはず。	◎
12月20日(木)	着地の時にふんわり着地する。	きれいにふみかか。	◎

資料② 技のポイントと振り返りのためのワークシート

### 6 成果と課題

- それぞれの技をデジタルカメラのビデオ機能を使うことで、自分の様子を振り返ることができたり、上手な友達の様子を何度も見たりすることができたので、自分の課題を決めることができた。
- 友達と相談する時に、スロー再生や一時停止することができたので、気を付けて練習する所を指摘しやすく、意識して練習することができた。
- 技のポイントをうまくとらえることができなかつた子どもが撮った映像は振り返りの時に、相談する材料にできなかつた。何を撮るのかを共通認識することの大切さを認識させる必要があると感じた。映像に残す利点をしっかりと確認していきたい。



資料③ お互いを見合ったりアドバイスをしたりして練習する子ども